

# 行政視察報告書

平成29年 7月18日

会 派 名 リフォームの会  
会派代表者 山 登志浩  
(参加者：中野 裕二)

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

①

年月日	平成 29 年 7 月 13 日 (木曜日)
視察時間	13:15~16:00
視 察 先	大館市消防本部及びニプロ・ハチ公ドーム
視察項目	消防団の充実強化に係る様々な取り組みについて

②

年月日	平成 29年 7月 14日 (金曜日)
視察時間	9:00~11:30
視 察 先	能代市教育委員会及び能代市立第四小学校
視察項目	学力向上の取り組みについて

# 行政視察報告書

①

年月日	平成 29 年 7 月 13 日 (木曜日)
視察時間	13 : 15 ~ 16 : 00
視察先	大館市消防本部及びニプロ・ハチ公ドーム
視察項目	消防団の充実強化に係る様々な取り組みについて
<b>■目的</b> 消防団の充実強化に至った背景及び様々な取り組みの内容や今後の展望について調査し、江南市の消防団強化の参考にします。	
<b>■内容</b> 東日本大震災など大規模災害の避難所における避難者の救護がいかに重要か再認識し、大館市の避難所における避難者の救護体制を強化するため、看護福祉に携わる大学の知識、技術、行動力をもって、避難者の救護者の救護活動にあたる機能別消防団員を組織化し、地域の防災組織や町内会と連携した防災力の向上を図り、市民の安全・安心に寄与するようにした。 ・大館市消防団応援の店…消防団員の福利厚生、満足度の向上や新規消防団員の確保、そして、地域の活性化を目的に 27 年 2 月から始めました。現在 12 店舗です。 ・学生消防団活動認定制度…3 年以上消防団活動をした大学生等に、学生消防団活動認定、証明書を交付し、就職活動を支援しています。 ・市公用車による消防団員募集 PR…消防団員募集ステッカーを予備も含め 200 枚作成し、市公用車 100 台に貼付し、広く市民にアピールしています。 ・消防庁消防団協力事業所表示制度…事業所のうち、消防庁の基準に適合した場合(団員が 5 名以上所属)、消防庁からも表示証が交付されます。現在 3 事業所。 ・入団年齢廃止、定年延長…採用年齢の上限を廃止し、定年を 65 歳まで延長。 その後、木造での世界最大級ドームである『ニプロ ハチ公ドーム(大館樹海ドーム)』を視察しました。秋田県が建設し、大館市へ無償貸与され、指定管理者が運営しています。今年度からネーミングライツが導入され、年間 330 万円でニプロに決まりました。	
<b>■所感</b> 大館市では、市の職員が 9 人と少なく、地域の消防団員で構成されていた。江南市では市の職員が大半を占めており、消防団員を増やす様々な取り組みが必要と感じた。	

# 行政視察報告書

②

年月日	平成 29年 7月 14日 (金曜日)
視察時間	9:00~11:30
視察先	能代市教育委員会及び能代市立第四小学校
視察項目	学力向上の取り組みについて
<p>■目的 全国学力・学習状況調査（通称；全国学力テスト）で常にトップクラスにいる秋田県、さらにその秋田県の中で平均を上回っている能代市における学力向上に向けた取り組みを調査し、本市の教育の参考にしたい。</p>	
<p>■内容 昭和 31 年実施の全国学力テスト(4%抽出)では、秋田県は小 6 の国語・算数と中 3 の国語が全国最下位、中 3 の数学が下から 2 番目だったそうです。全国最下位という現実をしっかりと受け止め、反転へのバネにし、徐々に学力向上に向けた情熱、覚悟が湧き上がっていったそうです。</p> <p>学校教育の重点</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1、主体的で、創意ある教育活動の推進 (学習指導要綱の趣旨を踏まえた特色ある教育計画の立案と実践・評価)</li><li>2、基礎学力の向上を図る学習指導 (基本的な学習習慣の確立・評価を生かした授業改善・ICT の効果的な活用)</li><li>3、心豊かで、たくましい子どもを育てる指導 (生き方を探求し自立を促す指導・健やかな心と体の育成・防災教育の推進)</li><li>4、幅広い識見と実践的指導力を培う教職員の研修 (学力向上のための研修・安全、安心な学校づくりのための研修)</li></ol> <p>続いて、地場産業である木材を多用した能代市立第四小学校を視察しました。校舎は木造 2 階建(13 億 1021.9 万円)、体育館は木造一部 RC 造平家建(3 億 7585 万円)で、とても木の温もりが感じられ、教育環境としてとても良いと思いました。ちなみに、運動場も芝生でした。</p>	
<p>■所感 電子黒板や ICT など最新の設備を導入しても、教える教職員の情熱や覚悟がなければ、学校教育の向上はないと強く実感した。そこに行政との連携をとっていき事によってよりよい教育環境の充実を図っていかなければならない。</p>	